

クローズ・アップ
第3次白根市総合計画と
白根市行政改革大綱

このまちを創るのは市民のみなさんです

この間、社会情勢や経済情勢も大きな変化が起きています。経済は高

以上のような情勢の変化に対応するため、昭和六十年代以降を展望する、新たな総合計画を、今年度中に策定するわけです。

この第二次総合計画は、昭和六十年度を目指して、この中でひとくきりとなります。

そのほか高齢化社会への移行、高度な情報化社会への進展などにも、市民の行政に対する要望の内容も変化し、増え続けています。

さらに昭和五十三年には、計画の一部を改めた第二次白根市総合計画を策定し、明日の白根市建設の実現に向けているいろいろな施策を推進してきました。

一方、経済活動は、長期にわたる停滞を続け、国や地方財政事情も厳しく、それぞれの立場での行政改革が強く求められています。

白根市は、昭和四十六年に、都市づくりの目標を「美しい自然のある生活都市、2人間は豊かな福祉都市、3文化のある教育文化都市、4調和のとれた産業都市、5みんなであつくる市民都市とする基本構想」と、これを實現するため、主要施策の大綱を盛り込んだ基本計画とからなる、白根市総合計画」を策定しました。

一方、経済活動は、長期にわたる停滞を続け、国や地方財政事情も厳しく、それぞれの立場での行政改革が強く求められています。

市政は常に現状を分析し、将来を予測しながら、明確な目標を定めて計画的に運営されなければなりません。このため市では、現在、第二次白根市総合計画に引き続き、昭和七十年を目指した第三次の総合計画づくりを進めています。これには、これまでいろいろな形でお聴きした市民の皆さんの意見や提案を、できる限り反映させたいと考えています。

一方、経済活動は、長期にわたる停滞を続け、国や地方財政事情も厳しく、それぞれの立場での行政改革が強く求められています。

第二次総合計画を見直し、迎える新時代に適応する指針を策定

市政は常に現状を分析し、将来を予測しながら、明確な目標を定めて計画的に運営されなければなりません。このため市では、現在、第二次白根市総合計画に引き続き、昭和七十年を目指した第三次の総合計画づくりを進めています。これには、これまでいろいろな形でお聴きした市民の皆さんの意見や提案を、できる限り反映させたいと考えています。

今日。そして明日に向かって

年頭のあいさつ



白根市長 滝沢昌三

市民とともに歩む 市政の推進

あけましておめでとうございます。市民の皆さまには、それぞれ新しい希望を抱いて、新春をお迎えのこと

と、心からお喜び申し上げます。私にとりましても、市長として初めて迎える新年であります。本年も昨年同様、地方公共団体にとりまく環境は、大変厳しいものと予想されますが、市民福祉の向上のため、より一層努力いたす決意であります。

課題を着実に 克服して

さて、白根市は現在、大きな課題を三つ抱えています。それは、財政の建て直しであり、縦割二校案の見直しをはじめとする教育の改革と充

さて、白根市は近年人口増加に転じるなど、県都新潟市の衛星圏にあつて、いわゆる白根ブロックの中核都市として、注目され、且つ重要な役割をこなしてあります。特に、高速交通時代を迎える中で上越新幹線と関越自動車道の全線開通は、本市の産業、経済、文化の発展に、その期待は計り知れないものがあります。こうしたとき七十年を目標年次として、白根市の指針を定める第三次総合計画についても、全力をあげて策定中であり、活力ある白根市建設のため、市民総参加の行政を進めてまいり所存であります。

21世紀に向けた まちづくりにまい進

そしてこの郷土白根市を、来たるべき二十一世紀に向けて、市民のみならず手を取り合い、三万五千市民がいよいよ生活できる魅力あふれるまちにしたいものであります。どうか本年も、市勢発展のため、格別のご協力を賜りますよう、お願い申し上げますとともに、市民の皆さまのご健康とご多幸を心から祈り申し上げます。年頭のごあいさついたします。

実であり、さらには農工商の調和を図りながらの産業の活性化であります。これらについてはいずれも市民のみなさまのご理解、ご協力によりまして、それぞれ前進をみておりますことは、誠に喜ばしく心から感謝申し上げます。本年の市政運営につきましては、行革大綱に基づいて、全庁あげての事務事業の簡素合理化と、効率的な財政運営に取り組みつつ、市民生活、優先の施策を積極的に推進してまいります。